



みんなで子育て No.8

それぞれの工夫によって活動が増えてきています。

羽島市立中島小学校 人権教育講演会 10月2日(金) 講演会型 (Zoom利用)

大棟 耕介 氏 講演会 ～「思いやりの心を大切に」～



●事前に確認。調整しても

学校では、Zoomの調整を前日に行いましたが、当日の午前中、思いもよらぬトラブルにより試すと動かない。慌てたとのこと。ICT活用では機器の不具合が起こることがあるのでそれに対応できる準備も必要であることがわかります。

感染症対策を十分に考え、会場は人との間隔を開けて、4, 5, 6年生が体育館、1, 2, 3年生は教室や理科室でテレビを視聴、保護者は図書室で視聴しました。

●講演内容(ホスピタルクラウンは、病院などで心のケアをする道化師)

講演はピエロに扮したホスピタルクラウンの大棟さんがステージ上でパフォーマンスを行い楽しませました。拍手のゲームやボールのジャグリングを行い、技術の高さとともに笑わせるテクニックを披露。その後「ホスピタルクラウン」の活動をDVDで紹介。Zoomでの映像はよく見える、聞こえるという感じでした。

大棟さんは、「人を楽しませることが苦手」というコンプレックスを克服するためにクラウンの養成講座に通い、みんなが笑ってくれるのが嬉しくなりました。この仕事に専念し世界大会へ。

世界大会で銀賞を取ったあと、ホスピタルクラウンとして仲間と病院へ行きましたが初めは、そこでの病気の重さを知り、うまく演技できませんでした。病院では「元気ですか」とは聞けない、バルーンは使えない(ゴムアレルギーのある子もいる)、親に会えない子もいる。といった配慮も必要です。しかしその後も訪問を続け、現在日本では96の病院に関わり、月2回訪問しています。

○もし僕が小学生になることができたなら伝えたいこと

- 1 友達を大事にする。(同じ小学校を卒業すると、後に助け合いができる)
- 2 今日という日を大切に。今日やれることは今日やる。
- 3 挑戦してください。みなさんは生まれてから歩けるようになるに至る力がある。
- 4 どんなことに対しても全力で頑張る。

健康は当たり前じゃない。挑戦する環境があるのです。

○児童の感想

楽しませる仕事、一人が笑うために心がける仕事は素晴らしいです。夢があります。1日を大切にすること、目標をもつこと、思ったことをちゃんと言うことを大切にしようと思いました。

○保護者の感想等

- ・改めて普段当たり前のようにしていることが、大切なことだと感じ、誰かのために生きるということを認識しました。
- ・自分を変えたかった。みんなが喜んでくれる。そのことを大事にして、自分のことを話せる、全力で頑張っている大人がいると感じました。
- ・いいお話でした。熱いお話で、子どもに響いていると感じました。

●コメント

講師の一流のパフォーマンスは素晴らしく会場を笑いの渦にしました。病気で家に帰れない長い期間を少しでも楽しくできるように、ホスピタルクラウンは頑張ります。「〇〇ちゃんを楽しませ笑わせるために」という大きな目的のために行われます。病気の子を見てきたお話をされ、聞いていた小学生には「もし僕が小学生になることができたなら伝えたいこと」は、児童の聴く姿勢の良さからも心に響いていると感じました。参加された保護者の方も、ビデオでの病院の様子に涙を浮かべ、厳しい状況の子どもに対しても、明るく楽しく振舞われる姿に感動されている様子でした。感染症対策で行ったZoomでの視聴の良さも感じる講演会でした。



体育館



1年生教室



図書室：保護者用



今年度初めての会 対策を十分に

★ 玄関には、コロナ対策として、入館の制限、氏名住所の記入、体調の確認、手指の消毒が明記・設置されています。会場は例年なら畳のえほんのお部屋で定員12組ですが、今回は広い遊戯室で、定員は5組です。マットを敷き、1組1枚でその範囲での活動が基本です。

●開会 音楽(風に吹かれて)が流れ、お母さん方が参加した乳児の体をさすりマッサージをしています。準備運動ですね。

○自己紹介 「あなたのお名前は?」と歌いながら3回聞きます。お母さんが子どもの名前を言うと「あらステキなお名前ね」と返して拍手です。うれしいですね。その後何カ月、地区名などを話します。皆さん。同じぐらいの月齢なので、これから交流ができそうです。

○「お腹の中に何が入っている?」と聞きながら、ご飯や魚、リンゴ、ニンジンなどの絵をみせて遊びます。だっこして歩き、会ったらこんにちは、と動きが入ってきます。



○ペープサートによるお話 豚のペープサートで「カエルの歌」をブーちゃんバージョンにしたり、ゾウさんのペープサートで「ゾウさんの歌」をみんなで歌ったりします。それぞれ体に合わせたマスクをしています。ゾウさんのマスクは伸び縮みします。見ていて楽しそうに反応しています。

○「バスに乗って」の曲に合わせて抱っこして楽しく歩いたり、体を左右に動かしたり、高く低くといろんな動きがあります。

●最後は、7つの子の手袋シアターです。手袋の指のお母さんカラスが歌いながら子どもたちのところまで飛んで行っておしまい。楽しい時間はあっという間です。

コメント

9月からこども館の行事が始まりました。コロナの対策を心配しながらの活動再開です。どこの児童館でもどうしたらいいのだろうかと考えられ、館の規模に応じて、人数制限や開催場所を考えられています。接触をしないように配慮され、Babyひろばが終わって、残った方が交流されています。この時間になると参加者でない親子も館に来ています。職員の方々が、各部屋を見ながら、接触しないように声をかけられています。親子をよく見ることが重要ですね。参加された方は安心して子どもを遊ばせられる環境にあると感じました。

こども館の紹介

敷地内に園庭があり、遊具もあります。小学生もよく来館します。中学生も来ることがあるそうです。ボランティアクラブがあり、小学生は毎月集まり、イベントの準備や園庭の整備も行います。こども館に小学生のボランティア活動があることは素晴らしいですね。「こども館が好き」という雰囲気がありそうですね。

館内には「絵本のへや」や「ブロックのへや」がありますが、現在は本やブロックが見えないようになっています。本は入れ物がぎりぎりの高さ、ブロックはカーテンの裏にあり見えません。刺激を少なくして、したいことに集中できるように配慮されています。今月末にあるペットボトルの蓋を使ったヨーヨー作りの見本も玄関にあり、楽しさが伝わってきます。



遊具もある園庭



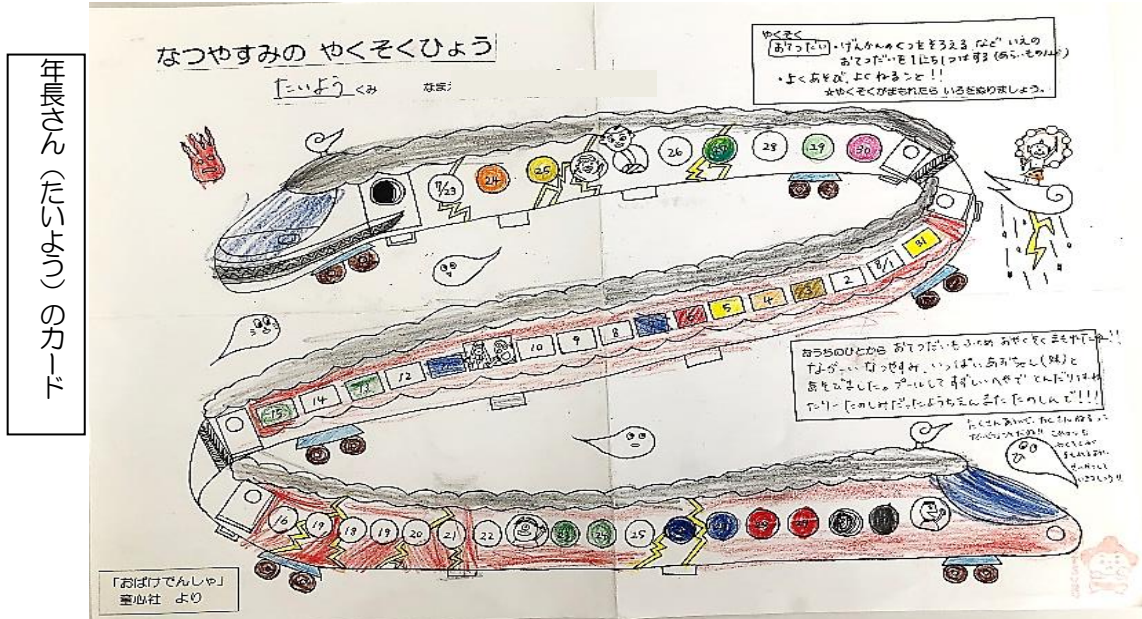
歩きながら「バスに乗って」



小学生のボランティアクラブの活動紹介

岐阜市立岐阜東幼稚園 **なつやすみのやくそくひょう** 7月23日～8月31日

岐阜東幼稚園では、毎年夏休みには「なつやすみのやくそくひょう」を実施しています。年少さんは自分のこと、年中さん・年長さんは家族を考へて約束を決めて実施、その表は、毎年作成されています。今年度は7月15日に実施した夏祭りで行われたお化け屋敷が年長さんに人気であったので、童心社の「お化け電車」をモデルに先生により手書きで作成されました。



年長さん(だいじゅう)のカード

★家族の言葉が丁寧 先生からの言葉もたくさんです。1例を載せました。

●こあら：朝ごはんを自分で食べる。

おうちの方から：8/〇〇からトレーニング箸で食べるようになりました。とても時間はかかりましたが、自分で食べるという意識はできたと思います。

先生から：とってもきれいだね。おはしでたべる〇〇くんはおにいさんだね。いっばいたべて大きくなろうね。

●なつめ：おてつだい

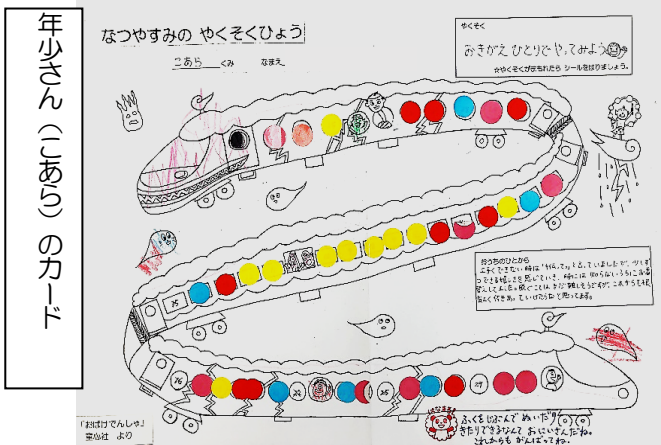
おうちの方から：夏休みのおやくそく「何する？」と聞いたところ、そく答で「お手伝い！」と言っただけあって毎日いろいろなお手伝いをしてくれました。ゴミ出し、米とぎ、おふろそうじ、食器洗い等々たくさんがんばってくれとってもたすかりました。

先生から：じぶんからどんなおてつだいができるかなとかんがえてやろうとする〇ちゃんがすてきです。いろぬりもからふるでいいね。

●たいよう：くつならべとげんかんそうじ！！

おうちの方から：玄関掃除はたまにでしたが、靴ならべは毎日してくれました。遊んでいる最中でも「あ！くつならべ！」と言うと「あ、はい！」と返事してやってくれ、割とお利口なんだな一と、かわいく思えてしまいました。素直でかわいい姿を見られ、毎日声をかけるのが楽しかったです。玄関は毎日、靴がキレイに並んでいました。

先生から：自分で決めてやろうとつけることはだいじだね!!これからもできることをみつけよう!!



年少さん(にせう)のカード

コメント

このカードが楽しそうですね。子どもが興味を持ちそうなものでカード作りがされています。年齢に応じての約束の質を考えられています。年少さんは窓の部分塗るのではなく、シールを張ることで簡単に興味を持てるようにされています。保護者の方は、お子さんと話し合っ「なつやすみのやくそく」を決めます。園で配布される案内「夏休みの約束」にはいくつかの例示がされていて決めやすいです。コメントも丁寧に書かれています。先生方のコメントも親子を支えるようにされています。互いの気持ちが残る貴重なカードになりますね。

